

■にしきた公園の時計塔

「阪急西宮北口の公園から一度は撤去された時計塔が、5年ぶりに元の場所に戻った」という新聞記事が平成26（2014）年に掲載されました。にしきた公園は、西宮出身の谷川流（たにがわながる）氏原作の『涼宮（すずみや）ハレヒ』シリーズのアニメに登場する、女子高生ハレヒらの待ち合わせ場所として描かれています。

この公園のシンボルになっていた時計塔が、ファンの強い要望によって復活しました。



にしきた公園の時計塔(甲風園1丁目)

■四葉のクローバー

阪急西宮北口駅は、東西の神戸線と南北の今津線が交差しており、これらにより分割された4つの地域がそれぞれに特色あるまちなみをつくっています。

平成13（2001）年には北東にアクタ西宮が、平成17（2005）年には南西に兵庫県立芸術文化センターが、平成20（2008）年には南東に阪急西宮ガーデンズがオープンしました。

「四葉のクローバー」はこれら3つの施設と、もとよりあった北西のにしきた商店街とがつながり、地域を活性化させるシンボルマークとなっています。



阪急西宮ガーデンズ前の四葉のクローバー



にしきた公園の時計塔 西宮北口～甲子園口 西宮まちなみ発見MAP

[西宮まちなみ発見 MAP] について

西宮まちなみ発見クラブでは、平成25年の活動として、西宮の歴史・自然・暮らしを感じる「景観みどころコース」を作成しました。今回はさらにその中から5つのコースを選んで、携帯用の「西宮まちなみ発見MAP」として完成させました。

このMAPを片手に、西宮の魅力に触れてみてください！

■コースマップにあるマークの見方

ひとやすみスポット	WC トイレがあります	ベンチがあります	
公園	コンビニエンスストア	学校園	神社
バス停	ガソリンスタンド	郵便局	寺社

[西宮まちなみ発見クラブ] とは

西宮まちなみ発見クラブは、公募による市民で構成されるクラブで、平成17（2005）年より活動しています。景観に関する情報の共有や意見交換を通じて西宮のまちなみについて考え、美しいまちなみづくりを目指す活動を行っています。

平成27（2015）年3月2日発行
企画・制作：西宮まちなみ発見クラブ
協力：関西学院大学 社会連携プロジェクト「西宮まちづくり」チーム
西宮まちなみ発見クラブ事務局:西宮市役所景観まちづくり課(0798-35-3526)

『復興のまちをめぐって』 西宮北口～甲子園口

阪急西宮北口駅をスタートしてJR甲子園口駅に至る瓦林地区を巡るコースです。

阪神・淡路大震災後、西宮北口駅を中心に大規模な再開発が行われ、まちなみは大きく変わりました。しかし一方では、昔からの農村の面影も見受けられます。

地域の人々の手によって再建された神社仏閣などもあり、今も残る緑あるまちなみの中で、ゆっくりとした時間が過ごせます。



憩いのあるまちなみ(高木西町)

■ほうきの跡も鮮やか

日野神社の境内に一歩足を踏み入れると、ほうきの跡が鮮やかで、手入れが行き届いていることに気づかれることでしょう。これは生い茂る竹の伐採や、落ち葉や枯れ枝の清掃など、境内を常に美しく手入れされている方々のおかげです。中には20年もの長い間、続けている方もいらっしゃいます。皆さん異口同音に「境内がきれいになって気持ちがいい」と話されます。

風の強い日や雨の降ったあとは枯れ枝が落ちることが多いので「注意 木の枝落下」という、心のこもった手作りの立札が所々に立てられています。



「夏の掃除は、蚊が多くて大変です」

■津門川の景観・まちづくり

阪急西宮北口駅の北西口から徒歩約3分の所にある津門川では街中にもかかわらず、ありえないような豊かな自然があります。石垣には年間200種類以上の植物が芽吹き、川には多くの種類の魚が泳ぎ、季節ごとに様々な水鳥が集います。こうした風景を遊歩道を歩きながらゆっくりと安全に観察することができます。津門川の良好な河川景観は、自然と人が、人と人とがつながることで育まれています。

もともとは、幼稚園の子供たちや地域の有志によって川掃除が行われてきました。そこに商店街が加わり「津門川の自然を守る



津門川のイルミネーション(南昭和町)

会」が発足しました。川掃除は、毎月第一日曜日に定期的に行われるようになり、専門家を交えて学習する「津門川塾」も開催され、ただ綺麗にするだけでなく、あえて草を刈り残すなど、生物にとってより良い環境をつくる取り組みも行われています。

川掃除には、更に複数の自治会も加わって、西宮北口北西部のまちづくりにも関心が向くようになり「にしきた街づくり協議会」が発足しました。その後、安心して乳母車を押して歩けるように教会前の道路を遊歩道とするなどのまちづくりが行われています。

津門川の鮎はテレビ番組に取り上げられたこともありますが、以前は落差2メートルの堰（せき）によって魚の回遊を妨げていました。県への陳情で階段式魚道に改良された結果、海から遡上した鮎を見ることができるようになりました。

端午の節句には鯉のぼり、クリスマスにはイルミネーションなど、川を中心とした催しも多く行われています。そんな機会に津門川の良好な景観がどのようにしてつくられてきたのかを少し意識して、ゆっくりと散歩を試みるのはいかがでしょうか。きっと津門川への親しみが湧いてくるでしょう。

*表紙写真：アクタ西宮

*MAP作成にあたり以下を参考にしました。
「にしのみや探訪 エコツアーガイドブック」平成18（2006）年発行 / 西宮市環境都市推進グループ編
「宮っ子」No.321 平成25（2013）年3・4月号

1 「春の唄」の歌碑／北口町

西宮北口に市場のあったことを覚えておられますか？今でも良く歌われる「春の唄」は、北昭和町に住んでおられた喜志邦三氏が、市場を思い描いて作詞されましたが、市場は阪神・淡路大震災で全壊しました。しばらくしてポンテリカ（仮り店舗を逆さまに命名）が建ち、平成 13（2001）年にはアクタ西宮ができ、地元の発意によって連絡デッキにこの歌の歌碑が作られました。



2 阪急西宮北口駅／高松町

阪急西宮北口駅は「にしきた」の愛称で呼ばれています。1日の乗降客数は約 10 万人であり、神戸三宮駅に次ぐ賑わいを見せています。かつて神戸線と今津線とは直角に平面交差し、ダイヤモンドクロスという名で親しまれていましたが、昭和 59（1984）年の橋上駅舎化によって平面交差が廃止されました。阪急西宮ガーデンズの北側にある「高松ひなた緑地」にはダイヤモンドクロスのモニュメントが残されています。



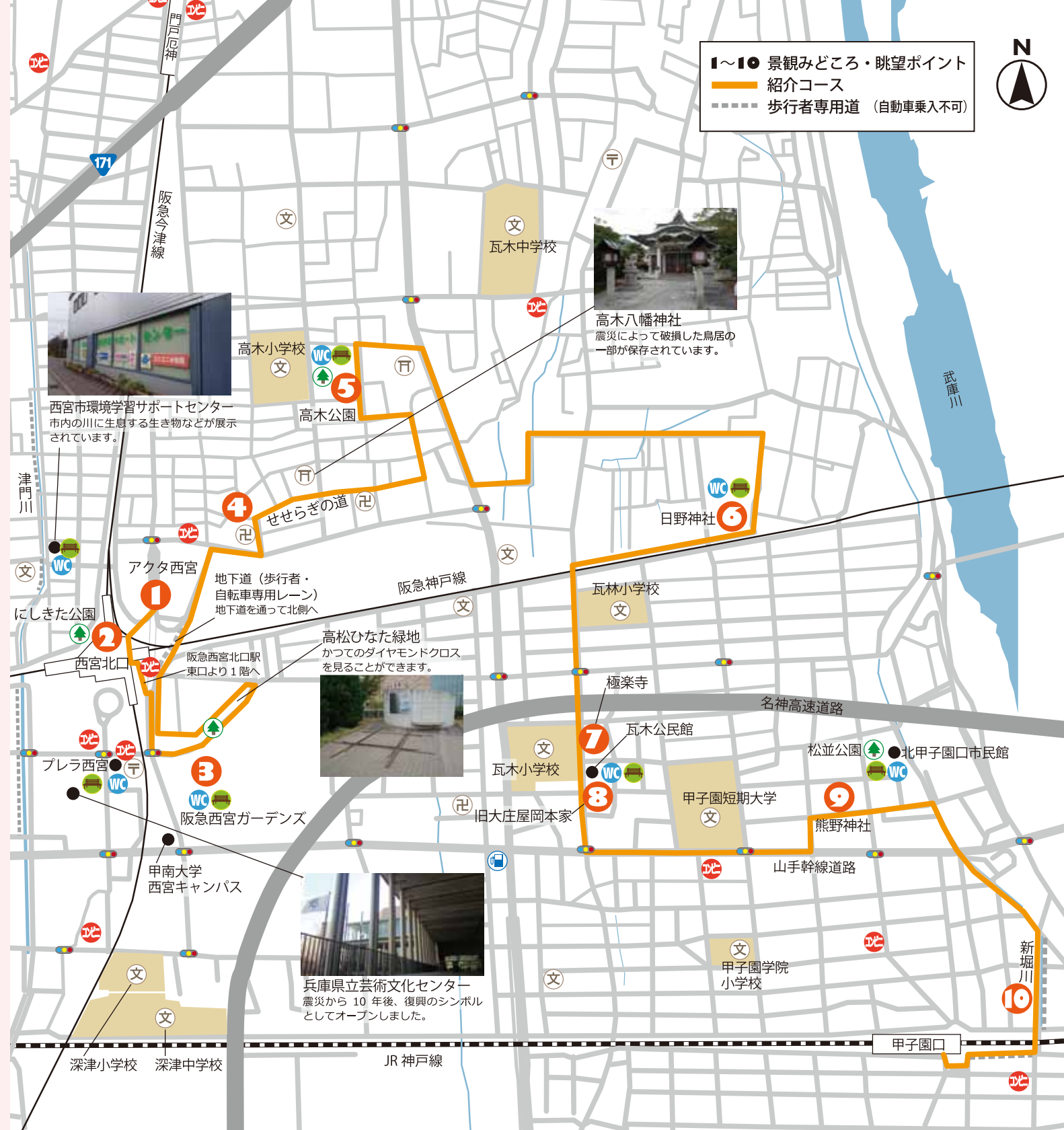
3 阪急西宮ガーデンズ／高松町

阪急西宮ガーデンズは 7 万平方メートルの敷地を有しており、平成 20（2008）年にグランドオープンしました。この地には、昭和 12（1937）年に日本初の 2 階建て球場として建てられた阪急ブレーブスの本拠地である、西宮球場がありました。現在も、芸術文化センター前の道路は球場前線、津門川に架かる橋は球場橋と呼ばれ、かつて球場があった名残をとどめています。



4 せせらぎの道／高木西町

このあたりは、阪神・淡路大震災で大きな被害を受けた所ですが、区画整理によって道路も広くなり、曲がりくねっていた灌漑（かんがい）用水路は整備され、まちなみは一変しました。敷き詰められた石と、「壺の橋」から「七の橋」まで渡された石橋が、「せせらぎの道」と名付けられた通りに情緒を醸し出しています。



5 高木公園／高木東町

平成 16（2004）年 4 月に開園した 1 ヘクタールの広さを持つ近隣公園です。防災公園としての機能も兼ね備えており、飲料用の貯水槽や防火水槽が埋設されています。また、昔懐かしい手押しポンプで水を汲み上げる井戸や公園の一角には、震災で亡くなられた抽象画家の津高一（つたか わいち）氏の石の彫刻作品が設置されています。



6 日野神社／日野町

社叢（しゃそう）は、県の天然記念物並びに市の景観樹林保護地区に指定され、典型的な沖積地上に立地する常緑広葉樹林（クスノキ・クロガネモチ・アラカシ）で、都市化した阪神間では貴重な鎮守の森となっています。また、このあたりは南北朝時代に築かれた瓦林城の跡地で、参道の脇に「瓦林城址」の石柱がたてられています。本殿・拝殿等々は震災で全壊しましたが、平成 22（2010）年、地域の人々の努力によって 15 年ぶりに再建されました。



7 新堀川／甲子園口北町

寛永 13（1636）年に灌漑（かんがい）用水として造られたもので、鯨池が水源でした。新堀川は、新川に合流して海につながっています。川に沿って歩行者専用道路があり、風情のある落ち着いた雰囲気となっており春には見事な桜を眺めることができます。ここまで来れば、甲子園口駅もすぐそこです。



9 熊野神社／熊野町

境内には松が生い茂り、マンションに囲まれた立地にありながらも厳かな空気が漂っています。幸いにも震災の被害が比較的少なかったようで、昔のたたずまいを残しています。寛永 17（1640）年に寄進された石灯籠は市内最古のものです。別名算学神社と呼ばれ、わが国の数学の祖、毛利重能（もうりしげよし）の碑があります。8 月には「そろばん供養祭（別名パチパチ祭）」が開かれます。



8 旧大庄屋岡本家／瓦林町

元禄 8（1695）年～明治 4（1871）年にわたり、尼崎藩の大庄屋を務めた旧家です。その間の事柄を記録した文書（もんじょ）は全国的にも有名で、書冊・横張などは昭和 54（1979）年に西宮市の指定文化財となっています。震災によって大きな被害を受けましたが、塀・門などの外観は、ある程度かつての姿をとどめています。



7 極楽寺／瓦林町

元亀元（1570）年に開基創建されたと言われている浄土宗の寺院で、境内には瓦林城主であった瓦林正頼（かわらばやしまさより）の墓である五輪塔があります。墓地南端に建てられていた弥陀石仏（みだせきぶつ）は鎌倉時代末期の石仏で、西宮市の指定文化財になっています。現在は庫裏（くり：住職の住まい）で保管されています。

